

『地域で作る明るい社会』

小城市立岩松小学校 6年松組 森重 杏理

「なんでこがんひどかことができるよ。」

毎日と言っていいほどニュースで流れる事件や事故に言葉がもれてしまう。殺人事件や天災による災害は決して他人事ではありません。でも私が住んでいる岩松校区は安心です。なぜなら、警察の方がパトロールしてくださるのはもちろんですが、地域の方々が私たちを見守ってくださっているから安心なのです。

通学路の草はらいや佐賀県がほこり「ふるさといきものの里100選」にも選ばれている祇園川の掃除なども地域の方々が取りくんでくださっています。そのおかげで私たちは安心して通学したり、祇園川で遊んだりできています。

また、地域の方々は私たち子供を「小城の宝、地域の宝」と言っていていつも見守ってくださっています。下校時に安全を見守る「青色防犯パトロール」では夕方の時間帯に交代で青パトに乗って地域をじゅん回してくださっています。

岩松校区の通学路は細い道だったり、工業団地や採石場があるので大型トラックの通行も多いです。放課後に下校がおそくなった時や一人で帰る時は少し怖いですが、そういう時も青パトがいてくれると安心します。

「○○ちゃん気をつけてかえらんばよ。」「なんかこまっとらんね。」などと気

軽に声をかけてくださいます。声をかけてもらおうと安心するだけでなく、とてもうれしくなります。父に青パトの事を聞いたら、地域の方々がボランティアとしてパトロールしてくださっていると聞きました。

改めて地域の方々が私たちが大切にしてくださっていることに感謝しなければいけないと思いました。

私の父も青パトや消防団などのボランティアに参加しています。

いつも私の事を心配してくれている父のも感謝の気持ちを忘れずにいたいです。

最近はや家族が進み、近所の人たちと関わりを持たない家庭も少なくないと聞きます。岩松校区のように地域の方々がフォローして子供を育てていく地域が一か所でも増えれば犯罪や災害を少しでも防ぐことができるのではないのでしょうか。

ボランティアの方々は、自分の時間をさいてまで活動をしてくださっているので大変だと思いますが、多くの地域で青パトのような活動が活発になれば、子供も大人も安心して暮らせる地域社会を築くことができるのではないのでしょうか。

地域の方々の応援にこたえるために私たちにもできること、しなければならぬことがあると思います。小学生の私にできることと言えば地域の方々に元気にあいさつをすることぐらいです。私が青パトの中から声をかけてもらってうれしいように、人と人のつながりを築くことができる第一歩の行動があいさつだと思います。このような小さいことが犯罪や災害の防止のきっかけになるのであれば積極的に実行していきます。

私たち、そしてその先の未来の子供達のためにも、犯罪や災害のない明

るい岩松、明るい社会をつくるために取り組んでいきます。

最後にいつも私たちを見守ってくださっている地域の方々にお礼を伝えさせてもらいます。いつも私たちを見守ってくれてありがとうございます。

みなさんに恩返しできるよう立派な大人になりたいと思います。これからも私たちの事をよろしくおねがいします。